

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-34732(P2006-34732A)  
 【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-006  
 【出願番号】特願2004-220915(P2004-220915)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 1 7
A 6 3 F	7/02	3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月25日(2007.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開閉部材により開放および閉止される役物内入球口と、その役物内入球口から入球した遊技球が入賞可能な特定領域と、上記役物内入球口から上記特定領域に至る遊技球通過経路内に、遊技球の挙動に影響を与えるステージとを有し、上記役物内入球口に遊技球が入球しあつその入球した遊技球が上記特定領域に入賞することで、非特別遊技状態から遊技者に有利な特別遊技状態に移行する遊技機において、

上記ステージは、遊技球案内方向とは交差する方向に、複数に分割されており、各分割部のうち少なくとも1つの分割部は上下方向に揺動しうることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

上記ステージは2分割されて、遊技球案内方向の上流側から第1揺動部材と第2揺動部材とを構成し、かつ、各揺動部材は、遊技球案内方向とは交差する方向に設けられた2つの軸を中心に各自独立して揺動する、請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

上記第1揺動部材は略中央に軸が配置される一方、第2揺動部材は遊技球案内方向の下流端近傍に軸が配置され、第1揺動部材における遊技球案内方向の下流端側が下方に位置するように第2揺動部材を揺動させる一方、第2揺動部材における遊技球案内方向の上流端側が上方に位置するように第2揺動部材を揺動させることにより遊技球停留状態を出現させる、請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

駆動源と、この駆動源により駆動される回動体とを有すると共に、上記第1揺動部材と第2揺動部材とには、各自案内溝が形成されており、これら案内溝に上記回動体に設けられた突起が緩やかに嵌まり込んでいる、請求項2又は3に記載の遊技機。